

伊勢・三河湾貧酸素情報(H29-12号)

平成29年9月27日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成29年9月21、25日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

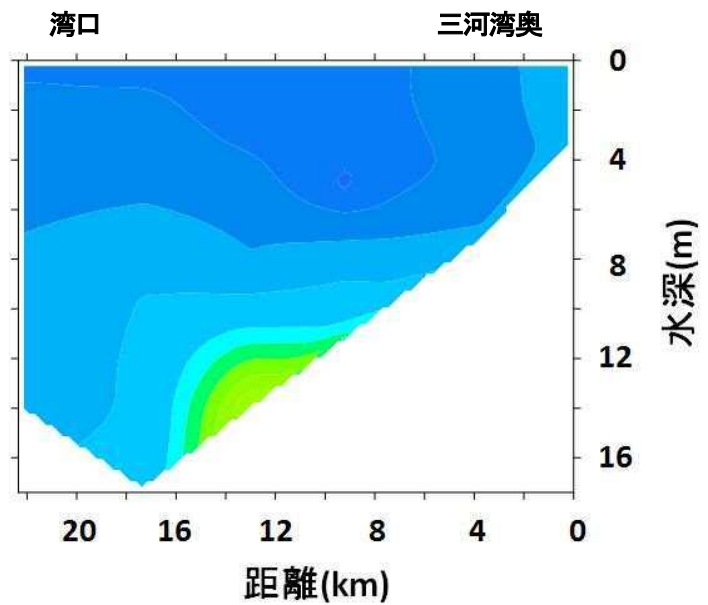
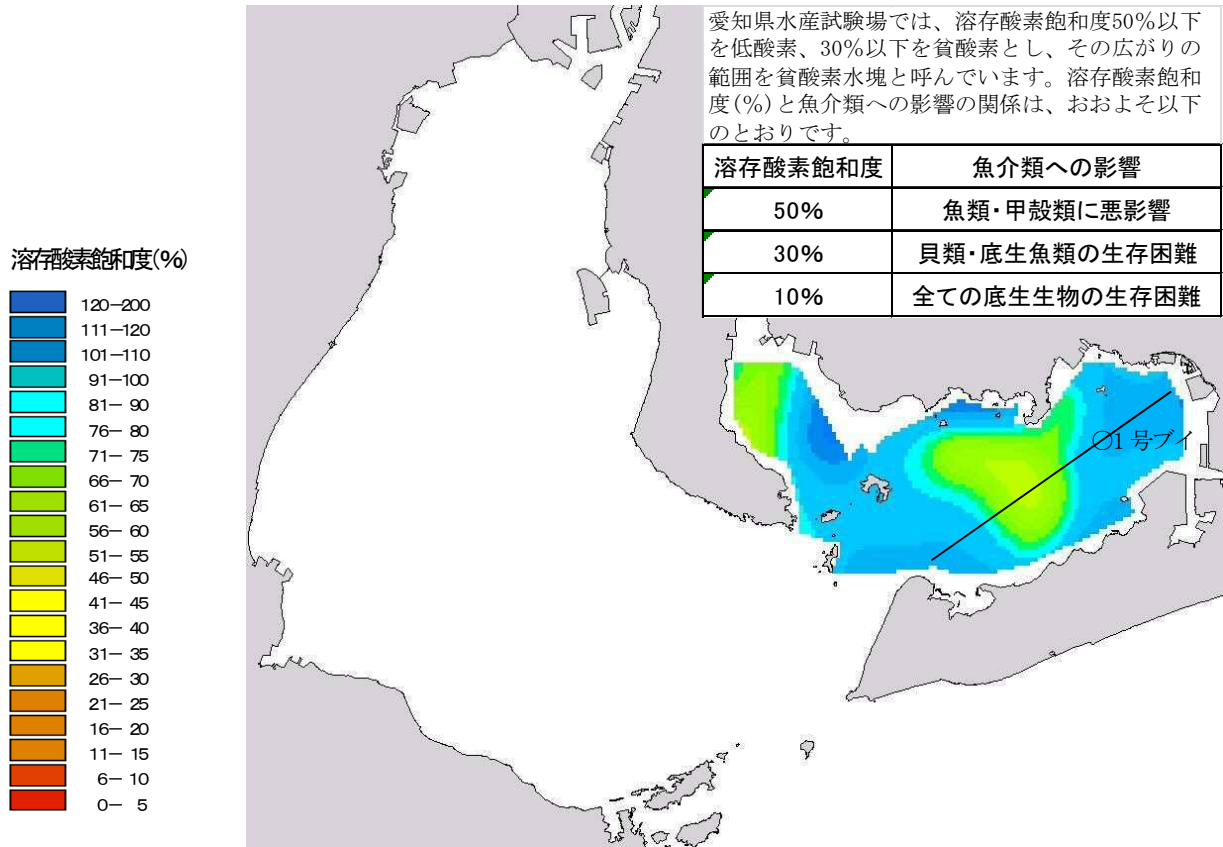


図1 三河湾(9月21、25日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)
(愛知県「ちた」調査)

三河湾

9月21、25日の調査結果を図1及び表1に示しました。前回調査(9月11日)に比べて三河湾全体で貧酸素水塊は解消していました(図1)。

自動観測1号ブイ(蒲郡沖)のデータを見ると、9月17日から18日にかけて接近した台風第18号の影響により海水の上下混合が起こり、9月19日以降、貧酸素水塊は解消しました(図2)。

気象庁が26日に発表した週間予報では、気温はおおむね平年並みで経過すると予想されており、今後は表層水温が下降するため、海水の上下混合が起こることから、大規模な貧酸素水塊の発達には至らないと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	23.8~25.6	30.0~32.2
底層	23.2~24.2	31.1~32.8

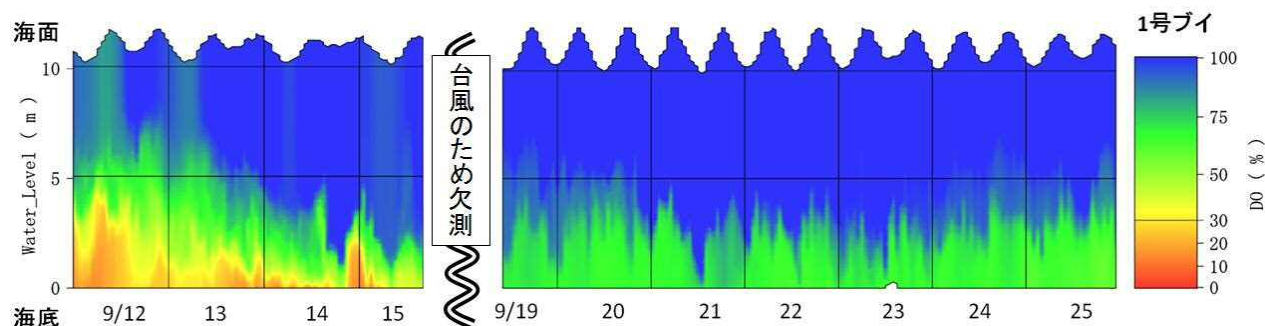


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測1号ブイ)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

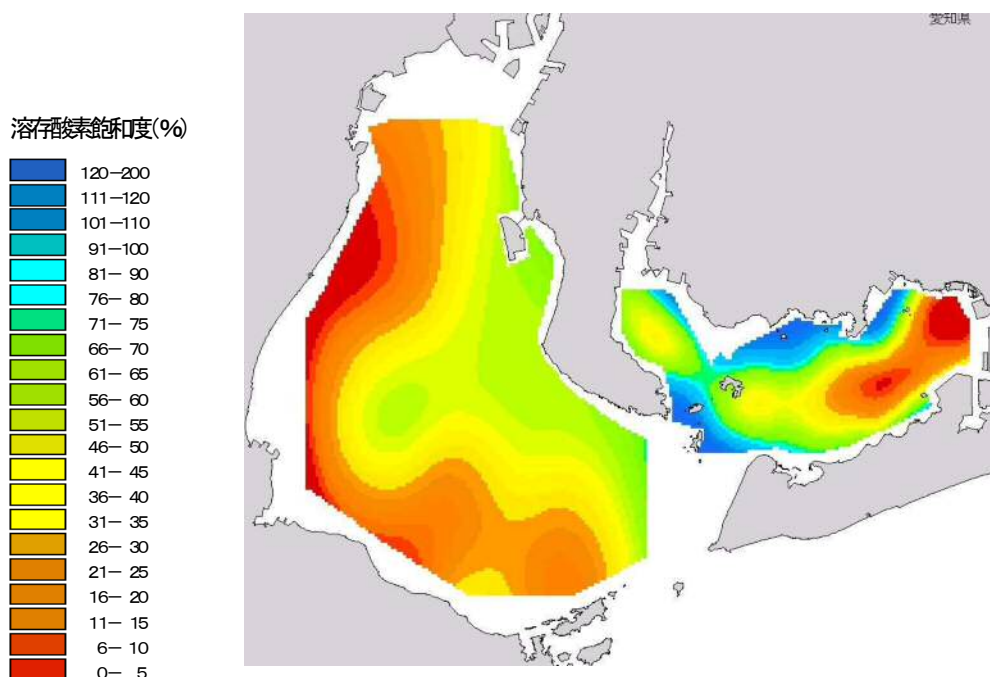


図3 平成29年9月8日(伊勢湾)、9月11日(三河湾)